

GOAL: 医療機関内での携帯電話の更なる活用による 高度ICT医療の実現、患者様のQoL向上

★Step1: 干渉発生の有無・程度の調査



体外式心臓ペースメーカ

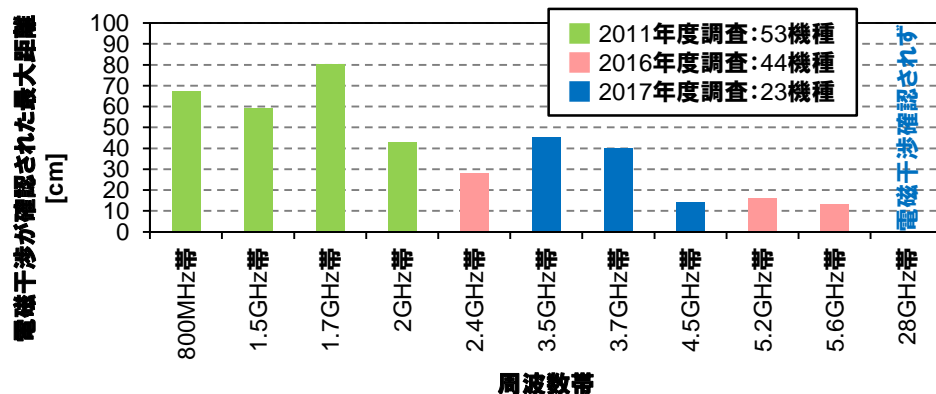


生体モニター

その他調査機器
 ・ 輸液ポンプ
 ・ 電気メス
 ・ AED など

↓
 過去調査で干渉が
 確認された機器を
 中心に調査

★Step2: 干渉を回避する携帯電話使用条件の明確化



★Step3: 携帯電話導入提案などへの活用(⇒利用シーン参照)

出典: NTT DOCOMOテクニカル・ジャーナル Vol. 26 No. 2(Jul. 2018)

概要

- 5Gでもドコモの携帯電話を安心してご利用頂くための継続研究
- 運用中の4G(3.5GHz帯、TDD-LTE)、今後の5G候補周波数(3.7・4.5・28GHz帯、無変調)において、携帯電話端末の電波による医用電気機器(23機種)への干渉影響を調査
- 28GHz帯では医用電気機器への干渉が確認されなかった
- 本調査は、金沢大学附属病院との共同研究で実施

利用シーン

- 医療機関にて携帯電話の導入を検討される場合の参考データ
- 電波環境協議会の指針や調査報告へのデータ提供

